

令和2年第11回

教育委員会（定例会）会議録

交野市教育委員会

1. 招 集 令和2年8月28日（金）午前9時30分
2. 開 会 令和2年8月28日（金）午前9時30分
3. 閉 会 令和2年8月28日（金）午前9時50分
4. 出席委員 北田 千秋教育長
尾崎 靖二教育長職務代理者
亥埜 誠治委員
伊丹 香寿美委員
長谷川 深雪委員
5. 事務局 大湾喜久男 教育次長兼教育総務室長・和久田寿樹 学校教育部長・足立多恵 学校教育部長・竹田和之 生涯学習推進部長・西井大介 教育総務室長代理・今井靖志 学校教育部長次長・本多章博 生涯学習推進部長次長・殿山泰央 まなび舎整備課長・花田睦美 学務保健課長・寺本憲昭 学校給食センター所長・大隅昌之 指導課長・仁木裕美 まなび未来課長・真鍋成史 社会教育課長・木村浩幸 青少年育成課長・平井正喜 図書館館長・川村光子 図書館課長
6. 議事日程 日程 1 会議録署名委員の指名
日程 2 会議時間決定
日程 3 報告第 7号 教育長の報告について
7. 議事内容
北田教育長 皆さん、おはようございます。
 只今から、令和2年 第11回 教育委員会定例会を開催したいと思います。
 開催の前に事務局から本日の出席状況の報告をお願いします。

西井室長代理 本日の定例会の出席状況を報告いたします。本日の出席者は5名でございます。

同時に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により本会議は、成立いたしますことをご報告いたします。

北田教育長 報告はお聞きのとおりです。

次に、本日のこの会議でございますが、地教行法第14条第7項の規定により公開にしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 ご異議がございませんので、公開にしたいと思います。

本日、傍聴希望が4人ございますので、傍聴を許可したいと思います。事務局、準備をお願いします。

それでは只今から、令和2年 第11回 教育委員会定例会を開催いたします。

まず、日程1「会議録 署名委員 指名」を議題といたします。

会議録 署名委員の指名につきましては、交野市教育委員会会議規則第20条の規定に従い教育長が指名することとしてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 ご異議がありませんので、亥埜委員を指名します。

次に、日程2「会議時間決定」を議題といたします。

会議時間決定につきましても、教育長一任とさせていただいてよろしいでしょうか。

各委員 異議なし

北田教育長 ご異議がありませんので、只今から午前 10 時 30 分までといたします。

 続きまして、日程 3 報告第 7 号「教育長の報告について」を議題といたします。

 まず、報告事項 1「新型コロナウイルス感染症に関する状況について」を議題といたします。事務局説明をお願いします。

大湾室長 それでは、新型コロナウイルス感染症に関します教育委員会関係の状況についてご報告いたします。

 みなさんご存知のとおり、全国的に新型コロナウイルス感染が拡大しております。交野市では新型コロナウイルス陽性者が 3 月に 1 名、4 月に 9 名発生がありました。5 月、6 月につきましては、なかったところでございますが、7 月後半ごろからこの 1 か月間で、昨日も 1 名ありましたが、16 名の陽性者が発生してきているところでございます。

 また、学校や社会教育施設の関係者にも感染者の発生が 2 名あったところでございます。メールにて随時速報として連絡させていただいておりますが、この場で改めて状況や対応についてご報告させていただきます。

 まず、総合教育会議の折にも教育長の方から話がありましたが、交野小学校教員が PCR 検査陽性となった件でございますが、8 月 17 日からは 2 学期が開始されることもございましたので、児童、保護者の不安感に配慮いたしまして、市の費用で教職員 PCR 検査や保健所の指示による消毒、あるいは学校への支援として元教員を派遣するなど、万全を期して 2 学期を迎えたところ です。今年は猛暑の時期に新学期を迎えることになりましたので、熱中症対策の意味も含めまして、各校にはスポットクーラーやウォーターミスト、大型扇風機などを整備しております。加えましてサーモグラフィーを順次、学校に整備しているところでございます。

 続きまして、いきいきランドの指定管理者雇用のインストラク

ターが陽性になった件でございます。8月11日にPCR検査で陽性と判明したわけでございますが、当該インストラクターにつきましては、週1回指定管理者の自主事業としての教室を担当しております、8月5日に教室で教えておりましたが、接触状況やマスクの有無等から、保健所の方では、濃厚接触者に当たる者はおらず、また、感染経路も明確でございましたので、施設については通常通り開館してよいとご判断いただきまして、指定管理者の方で念入りな消毒の上、営業を続けたところでございます。

いま、感染として出ているのはこの2件でございますが、これ以外にも学校や放課後児童会の児童生徒、あるいは教員、児童会の指導員が濃厚接触者と判断されたり、発熱のためにPCR検査を受けるなどの報告は受けております。先ほどの報告した2件の陽性を除きまして、その他につきましては、今のところ陰性という報告を受けております。今のところ市立小中学校では、児童生徒への感染は確認しておりませんが、いつ児童生徒への感染が発生してもおかしくない状況であることは認識しておりまして、消毒等の即時対応ができるように準備しているところでございます。

なお、仮に学校で児童生徒、あるいは教員がPCR検査で陽性となった場合につきましては、保健所による疫学調査や消毒を実施する期間といたしまして、原則3日間の学校休業をすることと予定しておるところでございます。

報告は以上でございます。

北田教育長 報告、説明は終わりました。何か質疑はございませんか。

各委員 質疑なし

北田教育長 質疑なしと認めます。それでは報告事項1「新型コロナウイルス感染症に関する状況について」を終わります。

次に、報告事項2「交野市立第一中学校区 魅力ある学校づく

り事業の状況について」を議題といたします。

それでは、まず、まなび舎整備課からお願いします。

殿山室長代理

まなび舎整備課より、進捗状況報告の説明として2点ございます。

1点目です。

先月7月13日（月）から19日（日）にかけて開催しました「交野市立第一中学校区 魅力ある学校づくり事業 基本方針・基本計画」の説明会議事録について、現在鋭意作成中でございます。7日間10回、1回あたり約90分間で出た意見を全て集約し、取りまとめた議事録の作成が終わりましたら、改めてご報告させていただきます、HP等で公開したいと考えております。

2点目、今月6月18日付で業務委託契約をいたしました「交野市立第一中学校区 魅力ある学校づくり事業 基本設計等業務」の進捗状況について報告いたします。

6月の教育委員会定例会で報告させていただきました事業スケジュールのとおり、令和4年に小学校統合となる計画地の長宝寺小学校の敷地における仮設校舎の基本設計と既存校舎での必要となる部分改修の実施設計、令和7年4月までの開校を目指す交野小学校敷地における新校舎の建築基本設計と敷地周辺部を含む土木造成基本設計に向けて、概ね予定どおり進んでいます。

それらの建築・土木設計に必要となります基礎調査につきまして、交野小学校および長宝寺小学校児童の授業に極力影響が出ないように工程や工期を調整し、今年度、新型コロナウイルス感染症の影響によって短くなった夏季休業期間内に、できる限り建設機械等が敷地内に入るようになるよう、7月27日より実施いたしました。両校の敷地における地質・土質ボーリング調査や、交野小学校敷地での埋蔵文化財試掘調査、長宝寺小学校敷地での測量業務が終了し、現在、交野小学校敷地とその周辺部の測量を実施しているところで、こちらの測量業務も概ね9月中旬には終了となる予定です。

また、新校舎の建築基本設計にあたっては、昨年度に引き続きワークショップ形式での協議会を開催しながら意見聴取を踏まえて進んでいます。

地域協議会は、6月29日にみんなでやってみよう科との合同会を開催し、昨年度「かたの あしたのがっこう講演会」でもご登壇いただきました、大阪市立大学の横山教授に、これからの地域とともにある学校について、先進事例の紹介等レクチャーをいただき、みんなでやってみよう科で昨年度取りまとめられた、これからの地域とともにある学校の中で取り組むプログラムの案について、地域協議会のメンバーと意見交換を実施しました。7月27日には、今まで出された学校と地域の協働に関する意見等を踏まえ、具体的に敷地や建物のどの位置や部分で活動ができるか、などの意見交換をしながら、基本設計に反映できるように検討しながら進んでいます。

教職員協議会は8月4日に開催しました。交野市内の全中学校区と教育委員会事務局の指導主事、約60名の教職員に参加いただき8班に分かれ、地域との連携スペース、特別教室とメディアスペース、普通教室とその周辺部、校務センターなど、学校の諸室とその使い方などについての意見交換を実施し、これらの意見も踏まえ、基本設計に反映できるよう検討しながら進んでいます。

現時点の進捗説明については以上となりますが、今後も地域や保護者、学校関係者、教職員、そして第一中学校区の児童生徒からの意見も踏まえて、魅力ある学校づくり事業の基本設計を進めてまいります。

以上、報告でございます。

北田教育長

説明が終わりました。質疑はありませんか。

各委員

質疑なし

北田教育長 質疑がないようでしたら、続いて、まなび未来課からお願いいたします。

仁木課長 まなび未来課からは、開校準備委員会の進捗状況についてご報告いたします。

8月20日に第3回開校準備委員会が開催され、全体会と通学安全部会、地域協働部会にて、調査・検討を行いました。

全体会では、令和4年4月の小学校統合校及び令和7年施設一体型小中一貫校の校名の公募について、応募期間や対象者等について検討し、9月から10月末まで公募を実施する予定で進んでおります。その内容については、本日の資料「開校準備委員会だより」第2号にございます。この資料をもって第一中学校区の保護者・児童生徒・教職員・地域等に周知する予定としています。

通学安全部会では、通学路について、具体的に地図を広げての検討に入っており、実際に歩いて把握した危険箇所や安全対策の方法等と、通学路の候補について話し合われました。

地域協働部会では、前回の学校運営協議会や地域学校協働本部の説明を受けて、コミュニティ・スクールの導入を含めた「地域協働」の在り方について、意見交換がされました。

以上、報告でございます。

北田教育長 説明が終わりました。質疑はありますか。

亥埜委員 8月4日に教職員協議会があったと、今聞きましたが、それとは別で交野市の教職員全体で、こういう施設一体型の学校の施設の見学とか、何割程度の先生がされていますか。

殿山室長代理 施設見学につきましては、昨年度3日間で、4校を1学期中に回ったんですが、それにつきましては、全ての中学校区ご案内させていただいて、できる限りの先生方にご参加いただいたところで、すべての先生に第一中学校区が施設一体型小中一貫校になっ

ていくということは意識していただけかと思います。

北田教育長 2、3年ほど前から、各学校から1名、2名代表でマイクロバス等で京都、大阪この近辺、箕面市なども含めて施設一体型小中一貫校には行かせてもらっています。その先生方がどんな感じで各学校で伝えているかまでは把握できていませんが、どの学校にも必ず参加メンバーはいます。

亥埜委員 我々も見学に行った時に、何名か先生が来られていましたので、大体、何割ほどの先生が見学しているのかと思いました。

北田教育長 他にいかがでしょう。

各委員 質疑なし

北田教育長 質疑がないようでしたら、説明はこれで終わりますが、これまで我々教育委員として、6月定例会以降、何度も議論を重ねてまいりましたが、交野小学校敷地に建設する施設一体型小中一貫校について、新たな学校種である「義務教育学校」とするのか、方向性を今回定めたいと考えております。

これまでのことを整理いたしますと、6月、7月の定例会を受け、7月31日に、市内14校校長と我々教育委員との意見交換の場を持ちました。

その中では、校長から、施設一体型小中一貫校にするのであれば、一つの学校として、9年間を見据えて育てるという意味でも、義務教育学校とする方が望ましいとの意見をいただきました。

また、8月18日には、総合教育会議が開催され、市長とも意見交換をしたところです。

その中で、手続的なことは、今後、市長部局と教育委員会部局で詰める部分はあるだろうが、ということ为前提に義務教育学校として進めることについては一定、市長にご理解いただけたと考

えています。

では、改めて、各委員から新たな施設一体型小中一貫校の学校種について、義務教育学校の方が望ましいのか、従来型の小学校と中学校を一緒にするだけの施設が望ましいのか、ご意見を願います。

亥埜委員 これまで議論してきましたが、施設が別々ならともかく、施設一体型になるのなら、学校長との意見交換でもあったように、組織が一つで校長も一人の方がやりやすいのではないかとということで、やはり義務教育学校にしたほうがいいのではないかと思います。

北田教育長 校長からも、一人の方がやりやすいという意見もございました。他にいかがでしょう。

伊丹委員 施設一体型小中一貫校をつくるという中で、一つは「中1ギャップ」をどうするかというお話があったかと思います。4-3-2制で学年の区切りを決めて、特に小学5、6年、中学1年の部分をつなぐというところに非常に重点を置いて、これまで話をしてきたかと思うので、そういう点では、切れ目なく一貫した義務教育学校とした方がいいのかと思います。

北田教育長 小6と中1で一旦切れて、リセットという面もあるんですが、でも「中1ギャップ」の面で考えると、施設一体型にするなら義務教育学校ということですね。他にいかがでしょう。

長谷川委員 いま、手元にいただいた資料としての開校準備委員会だよりで、義務教育学校について分かりやすい説明がなされています。
これは義務教育学校という名前に、まず、耳慣れない保護者の方や地域の方々にとっては、とてもいいことだと思いますが、それでもやはり、期待と相反して不安や疑問点とかが出てくると思

います。何年か前から視察もされているということですので、それらを踏まえたいろんな資料を、その不安や疑問点に答えるべく準備していただきたいのと、義務教育学校であるゆえの、今までと違う点、保護者にとってはデメリットとも捉えられかねないことなどを、義務教育学校というかたちを持って保護者の意向も尊重しながら、特色を最大限に生かした学校づくり、教育活動を行ってほしいと思います。

北田教育長 市民説明会でも、6年生の卒業や中1の入学とか、その辺の節目をどうするかということがありましたので、いま、長谷川委員からありましたが、それを保護者からするとデメリットという風にも感じられるところもあると思うので、それをきちっと保護者に説明してほしいということかと思えます。

尾崎教育長職務代理者 施設一体型小中一貫校なので、教育課程の編成面から見ても、義務教育学校の方が一つの学校ですので、より充実した教育課程の編成ができるのではないかと思いますので、そういった点も十分に生かしていただきたいと思います。同時に交野市内の他の小中学校につきましても、これは校長先生方のお話し合いの中でも出ましたが、6-3制というものの中に、カリキュラム上やはり別の区切りが必要ではないか、特に意見交換の場が出たのは4-3-2制という区切り、一つの考え方ではないかということが強く出ましたので、義務教育学校となる学校だけではなく、交野市全体でそういったカリキュラム上のいいところを学び合えるような、そういったものにしていただきたいと希望します。

北田教育長 一つだけ突出しているのではなくて、義務教育学校という取組みが他の学校にも広がっていくようにということで。いま、お聞きした限りでは、これまでの6月、7月の定例会でもそうでしたが、義務教育学校で進める方がいいのではないかという我々の意見ですし、校長先生たちのご意見も含めてそういう方向なのかな

というふうには感じます。

その中で、7月の市民説明会の時に、もし義務教育学校にするのなら、学校の適正規模はどう考えているのかというご質問がありました。実際に、小学校、中学校それぞれの学校の適正規模は定めていますが、義務教育学校としての適正規模は定めてはいないんです。今後、第三・第四中学校区がどうなるかによって、その辺で新たな一体型一貫校ができるという可能性はあるかとは思いますが、現状は適正規模としては、今の小学校の適正規模と中学校の適正規模を合わせたもの、つまり「小学校部分は12学級から24学級、中学校部分は9学級以上18学級以下で24学級までは許容範囲とする」を、小学校部分と中学校部分を合わせた適正規模を交野小学校の敷地につくる学校については準用する方が合理的かと考えます。その後、第三・第四中学校区でということがあれば、その段階で検討の必要があるのかなと思います。概ね、我々教育委員としても、義務教育学校でという一定、方向性を確認できたと思いますが、よろしいでしょうか。

他にご意見ございませんか。

各委員 はい

北田教育長 ご異議無いようですので、今後は、義務教育学校として新校については整備を進めていただくとともに、長谷川委員からもありましたようにスケジュール感を持って、また、保護者や地域へ、こういう学校ですよ、という説明もできるように工夫しながら進めていただきたいと思います。

それでは報告事項2「交野市立第一中学校区 魅力ある学校づくり事業の状況について」を終わります。

以上をもちまして、第11回 教育委員会定例会の案件全てが終了いたしました。

交野市教育委員会会議規則第20条の規定により署名する。

交野市教育委員会

教育長

委員
